

★第50号★
平成29年12月8日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティアセンター・
鳴門市ボランティア連絡協議会
☎ 685-7170
鳴門市市民協働推進課
☎ 684-1200

鳴門市制70周年記念事業 秋の祭典 鳴門市内で展開！

◆2017鳴門市友好コスモス祭り

2017鳴門市友好コスモス祭りが10月1日から11月5日にかけて開催されました。

今年は、秋の長雨や台風などの影響で、予定していた接待所が開設できないところもありましたが、暑い夏を乗り越え、精魂こめて育てられたコスモスはその可憐な姿で鳴門の秋を彩り、「友好コスモス運動」からつながる歴史の1ページをしっかりと刻んでくれました。



くろさき花広場



里浦ふれあい花壇

◆第16回鳴門のまつり



平成29年10月15日(日)、鳴門ウチノ海総合公園で、第16回鳴門のまつりが開催されました。

今年は、鳴門市の新たなにぎわい創出プロジェクトである四国ゲートフェスタの第1弾として、前日から引き続き行われた四国の肉グルメと子どものまちフェスティバルの3大イベントが同時に開催されました。

それぞれの地域で、営々と伝えられ、大切に磨き上げられてきた伝統の踊りや、獅子舞などが「鳴門のまつり」という大舞台でお披露目されました。途中からは、降りしきる雨のため、演舞場がパークセンターに移動しましたが、エネルギーで雨も吹き飛ばすほどの熱演が繰り広げられました。



終日、雨模様の天気ではありましたが、鳴門市制70周年にちなんで、特別に実施されたオープニングのもち投げからクローリングのお楽しみ抽選会まで、会場は最後まで大いに盛り上がり、鳴門の伝統芸能を楽しんでもらえる秋の祭典になりました。

We Love なるとデー

実施報告

～鳴門のためにできることをする日～

10月22日(日)から11月5日(日)にかけて、WeLoveなるとデーが実施されました。この取り組みは、一人ひとりが鳴門のまちのためにできることを考え、できる範囲で活動することで、地域を見直すきっかけとし、ふるさとを愛する気持ちや社会貢献意識を高めることを目的としています。

今年もたくさんの市民の皆さんが鳴門のまちのことを考え、ふるさとに貢献したいとの思いで、積極的に活動に取り組んでくださいました。その活動の様子をご紹介します！



家庭の包丁等の刃物の再生



自主防災訓練の実施



葛城神社境内から餅投げの実施

他にも…

- ・健康福祉交流センター周辺の清掃活動
 - ・新池川広場に水仙の球根を2,300球植える
 - ・コスモス祭りの一環で接待所を開設
- など、様々な活動が行われました！

詳しい活動報告は、「市民協働のまちづくり」のウェブサイトでも紹介しています。

鳴門市 市民協働のまちづくり



第16回 鳴門市市民活動交流研修会



と き 平成30年1月27日(土) 午前10時～午後4時

ところ 鳴門市うずしお会館2階 第1・第2・第3会議室

内 容 (1) 活動事例発表 (2) NPO・ボランティアマッチングフェア〈パネル展〉
(3) 市民活動に関する相談コーナー

同時開催イベント 第83回鳴門市消費者の市・消費生活展

第24回安全なまちを考える市民の集い

◇お問い合わせ◇ 鳴門市市民環境部 市民協働推進課 ☎088-684-1200 担当：藤川

鳴門渦潮高等学校インターアクト部の活動について

鳴門渦潮高等学校のインターアクト部です。我がクラブは、鳴門ロータリークラブの下部組織・インターアクトクラブの活動を中心にボランティア活動を行っている部活動です。

現在の人数は17名ですが、徳島県高等学校青少年赤十字加盟校としての活動や、あしなが育英会や鳴門市社会福祉協議会などの団体からの依頼による活動を行っており、鳴門市内での募金活動や清掃活動を行っています。

4月には毎年「草の実まつり」に参加しており、今年は草餅を作ったり運んだりする仕事をさせていただきました。また、学校周辺の清掃活動や、赤い羽根共同募金の街頭募金活動にも参加しています。私たちにとって知らない人に声をかけて募金活動を行うことはとても勇気が必要ですが、多くの方々ボランティアに携わっているのを目にすると勇気が湧いてきます。また、毎年12月23日に行われている大麻町シングルベルマラソンにもボランティアとして参加させていただいており、参加者が多くにぎやかで、大麻町の人たちがボランティアで大会を盛り上げている様子がよく分かります。私たちはこのような校外の活動を通して地元の活動を知り、また鳴門という地域に貢献できる活動を増やしていきたいと考えています。

来年度の7月には四国の部員が一堂に集まるインターアクトクラブ年次大会が鳴門市で開かれる予定です。四国で活動する高校生を始め、多くの方々に鳴門の良さを知ってもらえる大会になればと考えています。

主な活動	4月	草の実まつり	4/29	大麻町	草の実学園
	5月	撫養駅清掃活動		☆撫養駅	中間テストのあたり
	6月	インターアクト会長・幹事会			代表者会議
	7月	校内美化活動			
	8月	インターアクトクラブ年次大会		☆県外	今年は吉野川市 1泊2日
	9月	文化祭 募金活動等・成果の発表		☆校内	
	10月	赤い羽根共同募金街頭活動			鳴門市
	11月	あしなが育英会募金活動			徳島市
	12月	鳴門市シングルベルマラソン大会ボランティア			大麻町
	2月	徳島若者フューチャーセッション			海部郡牟岐町
	3月	春の献血キャンペーン街頭活動			徳島駅前（昨年は参加せず）

顧問：大波多 千江子（理科） 副顧問：阿部 文子（福祉）、巽 忍（数学）



海岸清掃



草の実まつりボランティア



シングルベルマラソンボランティア

「うずっこタウン」が鳴門で開催！



おもちゃの病院で指導を受ける子どもたち



琴の演奏を発表する子どもたち

暑かった夏も終わり、本格的な行楽の秋を迎えた、10月1日（日）、鳴門で3回目となる参加体験型イベント「うずっこタウン」が、認定NPO法人とくしま県民活動プラザ、徳島県社会福祉協議会、徳島市市民活力開発センターの主催により開催されました。

鳴門市内外の小学生、鳴門第一中学校ボランティア部、鳴門高校「ボランティア学特講」の生徒総勢56名が集まり、それぞれ、県内、市内のNPO法人やボランティアグループなど、日頃から、その専門的なスキルで個性的な社会貢献活動に取り組んでいる活動者のみなさんの手ほどきを受けながら、体験活動に取り組みました。

はじめて体験する作業内容にとまどいながらも、大人のみなさんの、やさしく丁寧な指導に応え、しっかりとその形を吸収しようとする姿が印象的でした。

昼休みの時間には、子どもたちが体験活動でつくった、焼きそばやフランクフルト、よろこびにしめなどを食べながら、和室で邦楽の特別演奏を堪能するなど、和やかな雰囲気の中でタウンが形作られました。

午後からは、6団体の活動に参加した子どもたちのステージ発表があり、子どもたちは、自分たちが学んだものを、その豊かな感性力で見事に表現し、保護者や来場した人たちに披露してくれました。また、阿波踊り体操など会場にいる全員が参加する企画もあり、活気溢れる一体感のあるタウンづくりが展開されました。

未来を創る子どもたちにとって貴重な経験を積む場となるとともに、教える大人のみなさんも、自分たちの活動を知ってもらえる機会となる有意義な1日となりました。

・・・あとかき・・・

「情報紙なると」の発行も、記念の第50号を迎えることとなりました。振り返ればこれまでの情報紙には、先人の多くの皆さんの喜びや苦勞の足跡が刻まれています。先月、中央地区の渦潮ふれあい館に、同館を拠点とした活動の様子を学びたいと西条市禎瑞連合自治会のみなさんが視察研修に訪れました。世話役の方の話によれば、インターネットで「情報紙なると」に掲載された同館の活動記事を見て、機会があれば訪ねてみたいと思っていたとのことでした。小さな情報紙ですが、地道に情報を発信しつづけることが新たなつながりを生むことに気づかされました。

今後とも、原稿執筆や投稿など、積極的に「情報紙なると」をご活用いただけるようお願いいたします。

